

感染症の登園基準

※かかりつけの医師より登園の許可が出てから登園して下さい

病名	主な症状	登園停止期間
新型コロナウイルス感染症	発熱や咳、嗅覚・味覚障害。	保健所の許可が降りるまで
麻疹（はしか）	はじめ感冒症状が続き、発熱・目が赤く目やにが出る。発疹は全身に広がる。	解熱後3日を経過するまで
風疹（三日はしか）	発熱と、顔・首から発疹が出て、一日で全身に広がり、三日ぐらいで消える。	発疹が消失するまで
水疱瘡（みずぼうそう）	腹・背中に小さい赤い斑点ができ全身に広がる。発疹は水疱になり、次第にかさぶたになる。	全ての発疹がかさぶたになるまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳の下に腫れと痛みが現れる。大抵、両側ともに腫れるが、片方が遅れて腫れる場合もある。	耳下腺の腫れが消失するまで
インフルエンザ	急に高熱が出て、寒気・全身倦怠感・関節痛・頭痛などが見られる。	解熱後2日経過するまで
百日咳	感冒症状が長く続く。咳が酷くなり夜間に多く、ヒューと強い息を吸い込む特有の咳をする。	特有の咳が消失するまで
咽頭結膜炎（プール熱）	咽頭炎・結膜炎・発熱が主症状。高熱が続き、喉が赤く腫れ、目が充血する。	症状が消失し2日経過するまで
結膜炎（はやり目）	発熱、眼球・目瞼結膜の強度の充血に伴う点状出血、腫れ、光を眩しがる。まぶたが腫れ、目やにが出る	治癒するまで
腸管出血性大腸菌感染症	腹痛、大量の新潜血または下痢、発熱、脱水症状。	医師の判断
溶連菌感染症	急な高熱・寒気・頭痛・喉痛があり発疹が出る。	治療後、24時間以上経過後
流行性嘔吐下痢症	嘔吐・下痢・発熱が主症状。	医師の許可が出るまで
マイコプラズマ肺炎	風邪症状の後、咳が続く。微熱から高熱まで様々。	医師の許可が出るまで
RSウイルス感染症	2～5日間の潜伏期間後、39℃の発熱・鼻水・咳。呼吸困難等の重篤な症状の場合、入院も。	症状消失し、医師が登園を許可するまで
ヘルパンギーナ	5日以上発熱。咽頭・口蓋に水泡ができる。	医師の許可が出るまで
伝染性紅斑（りんご病）	風邪症状後、両頬に赤色の紅斑ができる。	医師の判断による
突発性発疹	高熱が続き、熱が下がると同時に胸・腹部に発疹が出て、全身に広がる。	症状消失し、医師が登園を許可するまで
伝染性膿痂疹（とびひ）	顔や手足に膿疱ができる。感染力が強く、かさぶたができるまでは感染する。	症状消失し、医師が登園を許可するまで
手足口病	夏風邪の一種で、手足には水疱や丘疹ができる。口の中の発疹は痛みを伴う。	元気があり、症状が消失するまで
帯状疱疹	皮膚の痛みや痒みから、発疹や水ぶくれが帯状に現れる。	かさぶたになるまで登園は控える